

## 7. 国際交流

---

### 7.1 国際交流委員会

委員長：石川 倫子 教授

委員：戸部教授、松本（智）准教授、大江講師、工藤講師、大橋講師

委員補助：川俣助教

事務局：久保石専門員

活動内容：

<前年度までの課題>

アメリカ看護研修（国際看護演習Ⅰ）への参加者を増やすために、前期授業時も国際看護演習Ⅰを開講する、新年度ガイダンスでアメリカ看護研修（国際看護演習Ⅰ）のアナウンスをするなど、学生の参加しやすい時期、学生の国際研修の関心度を高める工夫を行う。米国教員の招聘を実現し、学生の異文化理解、国際看護への関心を高める。

<今年度の目標・改善点・年度計画>

1. アメリカ看護研修（国際看護演習Ⅰ）、タイ看護研修（国際看護演習Ⅲ）を実施する。ただし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況や燃料費高騰の影響により、現地研修が難しい場合は、海外から看護系教員を招聘する。
2. 海外から看護系教員を招聘し、国際交流研修を実施する。
3. 学生の異文化理解を深めるため、日本在留の海外留学生等との交流（International Café）を行う。

<今年度の活動実績・評価>

1. アメリカ看護研修（国際看護演習Ⅰ）、タイ看護研修（国際看護演習Ⅲ）は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大や燃料費高騰の影響により、現地での海外研修は中止とした。
  - 1) 国際看護演習Ⅰは海外から看護系教員を招聘したり、海外留学生などの協力を得たりして実施し、41名の学生が受講した。
  - 2) 国際看護演習Ⅲは休講とした。
2. 米国から2名の看護教員を招聘し講演会および院生・教員向けの個別指導を実施した。また、海外留学生による学部生への講義等を実施した。
  - 1) イリノイ大学Doorenbos教授による講演会を以下のように開催した。
    - ①教員と大学院生向け講演「Career Cartography: Career Mapping to Increase Impact」を8月24日（木）15:00～16:30に本学大講義室で開催し、64名が参加した。
    - ②学部生への講義「Resilience & Self-care」「Building a program of nursing research」を8月23日（水）10:00～11:30、13:00～14:30に本学中講義室で行い、国際看護演習Ⅰの受講生41名が参加した。
  - 2) イリノイ大学Doorenbos教授による院生および教員向けの個別研究指導を8月21日（月）15:00～17:05、22日（火）15:00～17:35に本学地域ケア研修室で行い、本学教員および

院生5名が個別指導を受けた。

3) カリフォルニア大学ロサンゼルス校Barbara M Bates-Jensen教授による講演会を以下のように開催した。

①教員への講演「How we can support students to reach their potential」を12月13日(水)10:40~12:10に本学地域ケア研修室およびオンラインでのハイブリッドで開催し、本学教員47名が参加した。

②院生への講演「Tips for successful research」を12月13日(水)14:00~15:00に本学地域ケア研修室およびオンラインでのハイブリッドで開催し、10名が参加した。

③学部生への講演「How the nursing profession has enriched my life」を12月14日(木)10:40~12:10に本学大講義室で開催し、2年生83名が参加した。

4) ペンシルベニア大学看護学部2年生 Mashi Molligoda氏による講義「アメリカの医療制度や看護教育について」を6月26日(月)10:00~10:30に本学大講義室で行い、1年生83名が参加した。

3. International Caféは、財団法人石川県国際交流協会等の協力を得て、10月6日(金)16:30~18:00に本学地域ケア研修室にて対面で開催し、学生8名が参加した。留学生の母国の文化や生活をプレゼンテーションして頂き、意見交換など行い交流を深めた。

4. 海外留学生の研修受け入れを行った。研修生はペンシルベニア大学看護学部2年生 Mashi Molligoda氏で6月26日(月)~30日(金)の5日間にわたって、看護専門領域に関する講義・演習に参加し研修を行った。

<次年度以降に向けた課題・発展>

現地でのアメリカ看護研修の安全な実施に向けて、委員会全体で企画・運営を緻密に計画し、実施する。また、米国教員の招聘を継続し、学生の異文化理解、国際看護への関心を高める。

## 7.2 アメリカ看護研修

アメリカ看護研修は新型コロナウイルス感染症の感染拡大や燃料費高騰の影響により中止した。